

事例名			
ChatGPT を利用した言語活動 「My Opinion of Zoos」			
校種・学年	高等学校・3年		
教科・科目・単元・題材	英語科・英語コミュニケーションⅢ Big Dipper English CommunicationⅢ Lesson3 My Opinion of Zoos		
学校名〈任意〉	京都府立南丹高等学校	事例報告者氏名〈任意〉	玉井 大翔
機能名（アプリ名）	ChatGPT		
ICT 活用のポイント			
<p>授業準備および言語活動に AI(ChatGPT)を取り入れている。            授業準備のサポーターとして。また、授業中においては即時の英文添削や、やりとりなどもう一人の英語指導者として活用した。</p>			
活用場面			
<p>本単元は、動物園について、男女2人が動物園という施設があることに対する賛否を話し合っている、討論形式の内容である。</p> <p>本時では 英文読解→自分の立場の決定→意見の交換・討論 という活動を行った。</p> <p>① 英文読解において内容が掴みやすいよう、ChatGPT を活用して英文内容の画像を作り、視覚的な補助とした。(右図)</p> <p>② 討論において、相手を説得させるほどの意見を出し続けるのは難しい。そこで、賛成・反対の立場が同じ人でペアを組み、ChatGPT を相手に、討論をするように指示をした。ペア内で意見を深めながら、AI と簡単な討論形式の会話をすることができた。また、同時に AI に入力した英文の添削をすることもできた。</p>			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>(授業者より)</p> <p>やはり、文字や音声だけでなく、視覚的な画像を示すことで、本文内容の理解度は早く、また定着度も高かった。しかし、画像を示しすぎると、英語ではなく画像で話の内容を理解してしまう恐れもあるので、頼りすぎないように気をつけたい。また討論に AI を活用したことで、個別的な取り組みが促進された。</p>			

